

技術提案書の提出者を選定するための評価基準
【広島南警察署】

評価項目	評価の着目点			配点 (評価のウェイト)	
	判断基準			小計	
参加表明書	平成 21 年 5 月以降の業務の実績 (過去 10 年間の実績のうち 1 件を評価対象とする。)	業務の実績について次の順で評価する。 県等から受注した設計の実績を 1 件、次の順で評価する。 ① 設計対象面積 6,000 m ² 以上 ② 設計対象面積 2,000 m ² 以上 6,000 m ² 未満 ③ 設計対象面積 2,000 m ² 未満 (県等とは、国、都道府県、市町村とする。)		11	
	技術者の資格	各担当分野について、資格の内容を資格評価表により評価する。	主任担当技術者	総合	5.0
				構造	2.5
				電気	2.5
				機械	2.5
	技術者の平成 21 年 5 月以降の業務の実績 (過去 10 年間の実績のうち 1 件を評価対象とする。)	業務の実績について次の順で評価する。 以下の順で評価する。 ① 同種業務(※1)の実績がある。 ② 類似業務(※2)の実績がある。 上記に加え、実績の立場を次の順で評価する。 ● 管理技術者の場合 ① 管理技術者又はこれに準ずる立場 ② 主任担当技術者又はこれに準ずる立場 ③ 担当技術者又はこれに準ずる立場 ● 主任担当技術者の場合 ① 管理技術者、主任担当技術者又はこれに準ずる立場 ② 担当技術者又はこれに準ずる立場	主任担当技術者	総合	7
				構造	2.5
電気				2.5	
機械				2.5	
継続教育 (CPD)	CPD 認定時間を評価する。	主任担当技術者	総合	1.0	
			構造	1.0	
			電気	1.0	
			機械	1.0	
過去の受賞歴	主任担当技術者以上の立場で携わった受賞歴の回数を評価する。	管理技術者	17		
業務における総合的な提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の理解度及び取組意欲 業務内容、業務背景、手続の理解度及び積極性 ・業務の実施方針及び手法 業務の実施方針、業務への取組体制、設計チームの特徴、特に重視する設計上の配慮事項(ただし、評価テーマに対する内容を除く。)の的確性、独創性、実現性 ・評価テーマに対する提案 次の①～③のテーマに対する提案の的確性(与条件との整合性がとれているか等)、独創性(工学的知見に基づく独創的な提案がされているか等)、実現性(提案内容が理論的に裏づけされており、説得力のある提案となっているか等) ①テーマ1「警察機能を発揮させる機能的な施設づくり」について ②テーマ2「万全な防災対策による安全な施設づくり」について ③テーマ3「周辺環境と調和した魅力ある公共建築物としての施設づくり」について	30		30 (30%)	

- ※1 同種業務とは、延べ面積 6,000 m²以上の官公庁施設(庁舎、警察署、消防署、税務署、保健所その他これらに類するもの(以下「官公庁施設」という。))を対象とした設計業務(複合用途の場合は、官公庁施設の部分の面積をいう。)
- ※2 類似業務とは、次の①、②の通り。①延べ面積 2,000 m²以上 6,000 m²未満の官公庁施設を対象とした設計業務(複合用途の場合は、官公庁施設の部分の面積をいう。)
②延べ面積 6,000 m²以上の建築物(共同住宅、工場、車庫、倉庫、駐車場その他これらに類するものを除く)を対象とした設計業務
- ※3 総合主任担当技術者を複数名配置する場合の評価については、評価対象とした 1 名のみ評価する。